

■榊原健吉 剣客。幕末に剣術師範となるも維新となって衰頹，その復興に尽力し，外国人も多く入門した。

さかきばらけんきち

富籤流行・・・1830＝江戸の麻布広尾で，御家人榊原友直の長男に生まれる。

大塩平八郎乱1837＝7歳：

蛮社の獄・・・1839＝9歳：

天保改革弾圧1842＝12歳：_直心影流剣術男谷信友(精一郎)に入門。母が死去して，下谷に転居になり，道場通いが不便になった上，家の雑事を全て見なければならぬなか，師の移籍の勧めを固辞して，通い続け，

阿部正弘首座1845＝15歳：

・・・1848＝18歳：_事情を察した師男谷が自ら面倒を見るかたちで，

北斎没・・・1849＝19歳：_免許皆伝。

ペリー来航・・・1853＝23歳：

松下村塾・・・1856＝26歳：*幕府の講武所が開かれると，師の推薦で，剣術教授方に任ぜられ，

蕃書調所・・・1857＝27歳：_師範役に進み，

桜田門外変・・・1860＝30歳：_講武所が神田に移転になった際，將軍徳川家茂・大老井伊直弼臨席の模範試合で高橋泥舟を下し，將軍に気に入られて個人教授も勤めるようになる。

8月18日政変 1863＝33歳：_將軍に供して上洛の際には，二条城内で召抱えの天野将監を下し，四条河原で土佐藩浪士3人を斬る。

薩長同盟・・・1866＝36歳：*將軍が大坂城で没したため，江戸に戻り，講武所が組織替えに鳴ると，下野して，下谷に道場を開く。

明治維新・・・1868＝38歳：_遊撃隊頭取となり，北白川宮の護衛を勤め，土佐藩士を斬り倒す。維新後，静岡に移ったが，

初の日刊新聞1870＝40歳：_東京に戻り，下谷で剣術道場を営むも，

学問のすすめ1872＝42歳：_帯刀禁止で，道場の経営や武術教授の職が無くなったため，武芸者救済すべく，

明治6年政変 1873＝43歳：*撃剣会を起し，同志を集め官許を得て撃剣興行を始め，以後続出するこの種興行の先駆となる。

初の民間工場1875＝45歳：_警視庁の撃剣世話掛と試合して勝利，

三つの内乱・1876＝46歳：_廃刀令が出ると，倭杖と称する木刀と頑固扇と称する木扇を考案。

大久保暗殺・1878＝48歳：_明治天皇の上野行幸の際の天覧試合では審判を勤める。

沖縄県編入・1879＝49歳：_東京上野公園における前アメリカ大統領グラント来日招待の折と，

明治14年政変1881＝51歳：_名が挙がるにつれ，入門者は次第に増加し，外国人の中からも，イギリス人トーマス・マクラチャー(英国領事館書記官)・フランス人ウイラレー(陸軍戸山学校剣術御雇教師)・ドイツ人ベルツ(帝国大学医科御雇教師)他，健吉について日本剣術を研究する人たちが現われる。

秩父事件・・・1884＝54歳：

帝国大学始・1886＝56歳：_明治天皇の伏見宮邸行幸の際に，剣技を以て天覧の榮に浴し，

晩年には，講釈席や居酒屋を経営するも，うまく行かず，_道場で後進の指導を続け，

帝国憲法発布1889＝59歳：

_齧を解かず，道場も閉じずに，

郡司千島探検1893＝63歳：

日清戦争始・・・1894＝64歳：_脚気衝心で，没した。